

記 者 発 表 資 料
令 和 6 年 1 1 月 1 3 日
教育庁保健体育安全課学校安全・防災班
担当：阿部 電話：022(211)3669
メール：hokenaa@pref.miyagi.lg.jp

県内・全国の学校安全関係者と取組を共有

令和6年度「未来へつなぐ学校と地域の安全フォーラム」の開催について

県教育委員会では、地域・学校・研究機関などがそれぞれの立場で行っている「学校安全の取組」を共有し、さらに連携を深め、学校安全の発展を図るため、東北大学災害科学国際研究所とともに、安全フォーラムを開催しています。

今回のフォーラムでは、京都大学防災研究所 教授 矢守 克也 氏から「ThirteenとThirty-30年後の子どもたちと作る防災教育」と題して基調講演を頂きます。

また、地域と連携した学校防災の取組、生活安全や交通安全における児童生徒等の安全確保につながる取組事例の発表を行います。

フォーラムを通じ、いかなる災害や様々な危険からも児童生徒等の命を守れるよう、各学校等における取組の参考にさせていただくとともに、地域や関係機関等と連携した学校安全の推進を図ってまいります。

本県における学校安全の取組を県内外の方々に向けて広く発信していきたいので、報道機関の皆様におかれましては、ぜひ取材して下さるようお願いいたします。

記

1 日 時 令和6年11月20日（水曜日） 午前10時から午後4時まで

2 会 場 東北大学百周年記念会館 川内萩ホール
（仙台市青葉区川内40）

3 主な内容 （1）基調講演
（2）活動報告
（3）災害安全の取組事例発表・パネルディスカッション
（4）交通安全、生活安全の取組事例発表・講評
（5）関係機関からの情報提供

※ （1）の基調講演を頂きます京都大学防災研究所 教授 矢守 克也 氏は、防災教育、防災心理学の専門家でおられ、安全で安心な社会づくりを実現するために、巨大災害による被害を軽減するための研究を、社会科学・自然科学を融合して行われています。

また、令和6年9月に防災功労者内閣総理大臣表彰を受賞されました。（2）の活動報告では、今年1月の能登半島地震において「災害時学校支援チームみやぎ（MIRAI）」として、被災した学校の教育活動支援を行った栗原市立若柳小学校 教頭 武田 知也 氏から報告をいただきます。

4 添付資料 詳細は開催案内チラシを御覧ください。

（裏面に続く）

5 その他 平成27年度から教職員や学校安全関係者を対象にして今回10回目の開催になります。

6 取材について

(1) 取材については必ず事前申込をお願いします。

任意の様式に以下の必要事項を入れて（ベタ打ち可）提出してください。

①会社名 ②取材（撮影）方法 ③取材人数 ④来場予定時刻

表記のメールアドレスあて、11月18日（月曜日）午後3時までに申込をお願いします。

(2) 取材の際は、以下の点について御協力くださいますようお願いします。

イ 報道機関の受付は、正面玄関入口を入り、エントランスのスペースで行います。

ロ 取材当日は、社名等が明確となるよう、必ず腕章等を着用願います。

ハ 会場内での取材エリアは、受付時に説明いたします。

ニ フォーラム参加者の妨げとならないよう、取材エリア内での撮影に御協力願います。

(3) これらの点をはじめ、当日はスタッフの指示に従っていただきますよう御協力をお願いします。